

着ぐるみ使用上の注意

(1) 着脱するとき

- ア 着脱の際は、着ぐるみを汚損しないよう清潔なシートの上で行うなど、細心の注意をもって取り扱うこと。着ぐるみは白い部分が多く、特に汚れが付きやすく目立ちやすい生地になっています。
- イ 着ぐるみは、内蔵するファンにより発生するエアで膨らませて使用するため、ファンの運転のためのバッテリーとファンをつなぐケーブルが脱落・損傷しないように注意すること。
- ウ バッテリーの充電残量が十分あることを確認してから着脱すること。使用日ごとに、使用開始時100%充電されていることが望ましいが、バッテリーの充電能力低下を防ぐため、使用の都度充電することは避け、使用途中の充電はバッテリー残量が概ね40%以下にならうこと。
- エ 着ぐるみ内部は、ファンによる風が常時発生しているため、冬季は厚めの衣服を着用するなどして対応すること。
- オ 着ぐるみの足部分内部はスリッパ状になっており、土足での着用はしないこと。
- カ 関係者以外（特に子ども）の前で絶対に着脱しないこと。

(2) 活動するとき

- ア 着ぐるみを汚損・破損しないよう細心の注意をもって取り扱うこと。
- イ 雨雪の下では原則として使用を控えること。なお、使用中に雨雪となった場合は、速やかに使用を中止すること。
- ウ 足下の視界が悪いため、活動の際は、安全対策として必ず誘導係を付けること。また、小さい幼児等にぶつかったり、倒したりするおそれがあるので、急に振り向いたり、急に走り出すことは避け、転倒にも十分注意すること。
- エ 激しい動きをするとバッテリーとファンをつなぐケーブルが外れるなどして着ぐるみがしぼんでしまうおそれがあることから、常に注意して行動すること。
- オ 着ぐるみ内部はエアが常時送られてくるため、熱はこもりにくくなっているが、長時間着用すると気分が悪くなることもあるので、適宜休憩や水分補給を行うなど十分な対策をとり、無理のない着用をすること。連続使用は最長でも30分程度が望ましい。
- カ 着ぐるみ着用時は絶対に声を出さないこと。ジェスチャー以外でわかばんから何らかのメッセージを伝える必要がある場合は、誘導係や司会者等が代弁すること。
- キ タスキは必ず着用することとし、原則左肩からのななめ掛けとすること。

(3) 使用後

- ア 汚損または破損箇所がないか必ず確認すること。
- イ 目に見えるほこりや汚れなどを可能な限り落とし、消臭スプレーで消臭し、風通しの良い場所で十分乾燥させてから返却すること。
- ウ 汚損・破損または部品を紛失した場合、直ちに貸出機関に申し出ること。

(4) その他

- ア 輸送や保管の際には、専用の収納袋に収め、型くずれしないよう、取り扱いに十分留意すること。
- イ 頭部を持つ際は絶対に耳だけで持たないこと。